

【研究概要】

急性心不全患者における運動耐容能の低下は、長期的な生命予後の悪化につながる
ことが明らかとなっている。しかし運動耐容能の低下がどのように予後と関わってい
るかは明らかでない。そこで生体電気インピーダンス法を用いた骨格筋量と、運動耐
容能の指標である脳由来神経栄養因子 BDNF を測定し、急性心不全がフレイルに与える
影響と、長期予後を検討する事とした。